

日本史特殊講義1A－II

科目ナンバリング JPH-202
選択必修 2単位

相澤 央

1. 授業の概要(ねらい)

古代律令国家による情報伝達・交通制度について論じます。情報の伝達、そしてそれを支える交通制度は、国家の支配を実現するために必要不可欠なものです。日本古代の律令国家も、それぞれの目的に応じた交通制度を設けて運営していました。本講義では、日本古代の情報伝達と交通制度について、文献史料だけではなく考古資料も活用して具体的に論じます。

2. 授業の到達目標

①日本古代の情報伝達と交通制度の特徴について理解する。

②授業の中で特に興味を持ったテーマについて、参考文献を読むなどして理解を深め、自分なりの考えを持ち、レポートにまとめる。

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業内容についての感想と質問(30%)と、秋期授業終了時に提出する4,000字程度のレポート(70%)で評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

館野和己 日本古代の交通と社会 塙書房
中村太一 日本の古代道路を探す 平凡社新書
永田英明 古代駅伝制度の研究 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

復習をしっかり行い、関心をもって授業に臨んでください。また、授業で紹介した参考文献を読み、自分なりの考えを持つように学習してください。

6. その他履修上の注意事項

毎回、授業内容についての感想・質問を提出してもらいます。なお、7の授業計画は進行状況等により変更することがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容、進め方などについてのガイダンス
- 【第2回】 古代の交通制度概論
- 【第3回】 律令国家の本質地主義と人々の交通
- 【第4回】 文献史料からみた古代駅家の成立
- 【第5回】 駅戸の編成
- 【第6回】 駅制の運用実態と展開
- 【第7回】 古代駅制の解体
- 【第8回】 出土文字資料からみた駅家
- 【第9回】 律令国家の交通政策と橋
- 【第10回】 過所制度と過所木簡
- 【第11回】 古代の津(港)
- 【第12回】 日本馬のルーツと特徴(オンライン授業)
- 【第13回】 末端における情報伝達
- 【第14回】 古代武蔵国の駅路と駅家
- 【第15回】 古代坂東の水上交通